

日本小児科学会医療安全委員会主催

第13回 Sedation Essence in Children Under Restricted Environment (SECURE) オンラインコースの報告

開催日：2022年2月19日(土) 13:00~16:30

開催方法：オンライン (ZOOM)

参加費：11,000円 (1施設あたり)

参加者数：9名 (3施設)

目的：「MRI検査時の鎮静に関する共同提言」を理解し、安全な環境整備に関わる人材の育成を目的として開催してきた SECURE コースの、オンライン開催の妥当性と課題を把握する

参加者：医師3名、看護師3名、放射線技師3名

参加施設：洛和会音羽病院、京都市立病院、京都府立医科大学附属病院

プログラム内容：

第1部 (30分)：座学 (共同提言の解説とオリエンテーション)

第2部 (55分)：シミュレーション実習 (実践型訓練と振り返り、他施設との比較検討)

第3部 (65分)：アクションプランを立てよう (各施設の問題点と課題解決に関する協議)

第4部 (30分)：発表・質疑応答 (アクションプランの発表、全体で意見交換)

コースの実際：本コースは全て Zoom を用いたオンラインで行った。事前準備として、各参加施設における MRI 室周辺環境を、Google スライドを使用して再現を依頼した。第1部は座学形式で共同提言の要点を伝えた。第2部は事前準備で用意した Google スライドを使用して、各施設の現状の把握をシミュレーション/ディスカッション形式で行った。同一施設の医師、看護師、放射線技師が3人1組でシナリオシミュレーションを行い、振り返りの場で、自施設の課題や解決策を多職種/多施設で協議する場を提供した。第3部は、Zoom のブレイクアウトルームを使用し、自施設の課題の解決策に対して具体的なアクションプラン作成を行うワークショップを行った。実現性が高くなるように、1参加施設につき医療安全委員会の委員1~2人がサポートを行い、自施設の改善したい課題を挙げてより具体的な解決策の立案を目指した。ファシリテーターは助言や討論の場を提供した。第4部は、各施設のアクションプランを中心に発表し、参加者全員で討議を行った。

アンケート結果：「コース全体の満足度は？」5.5 (6点満点)、「安全な環境整備に対する意欲が向上したか？」5.7 (同)、「多職種での参加は良かったか？」5.8 (同)であった。参加者の声として、多職種で行う意見交換の場があることや、他施設の現状を知れることが非常に好評であったことは、今までの SECURE コースにおける感想と同様であった。オンライン開催であることについて否定的な意見はほとんど見られず、むしろオンライン開催により適しているとの意見もみられた。オンライン開催を正式に開始して2回目であるが、前回までとの違いとして、参加者それぞれが個別のパソコンとイヤホンマイクを使用してコースに臨んでいることが挙げられる。参加している多職種間のコミュニケーションが SECURE コースの重要な部分であり、オンライン開催においては今回のような個別のデバイスを用いた参加がより望まれる。

コース運営と今後の取り組み：今後、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて、オンライン開催を継続するか、現地に集合してセミナーを開催するべきか検討を行う予定である。①第14回 SECURE コースは2022年中にオンラインで開催予定② SECURE コースの様子やアクションプランの実例を、学会ホームページ内の医療安全委員会のコーナーから閲覧可能となっている。

http://www.jpeds.or.jp/modules/guidelines/index.php?content_id=98